

## SKFフレットニング防止剤 LGAF 3E



## LGAF 3Eを軸受の取り付けに使う

LGAF 3E/0.035チューブは、特に整備用の工具箱や現地での軸受取付けに適しています。コンパクトで使いやすく、多数の軸受の取付けにも充分です。

- LGAF 3Eは軸受のすきまばめに生じるフレット腐食を低減します。
- 腐食が減ると、軸受の取外しが容易になります。
- 腐食に対する修理作業が減るので、軸受の良好なはめあいの維持につながります。



### 使い方

- 軸受の取付け準備を行い、金属の接触部を清掃します。
- すきまばめの接触部(一般的には軸受外輪の外側)に少量のLGAF 3Eを塗布します。
- 専用工具や手袋を使い、LGAF 3Eをごく薄いフィルム状に広げます。
- 軸受を取付け、余分なLGAF 3Eを取り除きます。

**重要:** LGAF 3Eは軸受の潤滑剤ではありません。LGAF 3Eを少量だけ塗布することで、転動体や軌道面が清浄に保たれ、軸受潤滑剤との二次汚染を防止できます。

## LGAF 3EをTIHヒーターの保守に使う

LGAF 3E/0.035チューブは、ヒーターの保守にも最適で、SKFインダクションヒーターTIHシリーズの性能を最大限に引き出すのに役立ちます。

- LGAF 3Eは誘導コイルとヨーク間の接触面の腐食低減に役立ちます。
- 運転中のヒータの騒音を低減します。
- ヒータの性能を長期間維持します。



### 使い方

- 清浄な綿布を使用し、誘導コイルとヨーク間の金属接触部をきれいに清掃します。
- ヒータの誘導コイル部に少量のLGAF 3Eを塗布し、薄いフィルム状に広げます。

**重要:** 必ず接触部の汚れやゴミを取り除き、ヨークと誘導コイルの損傷を未然に防止してください。接触部がすでに腐食している場合は、薄い細目のサンドペーパーで事前に錆を落としてから清掃してください。誘導コイルやヨークを傷付ける可能性もあるので、接触部に潤滑剤を塗布してからヒーターを運転させてください。ヒータ運転中に大きな騒音がする場合、潤滑が不十分である可能性があります。

## LGAF 3EをSKFヴィブラコンに使用する

LGAF 3Eをヴィブラコンの球面接触部の潤滑に使用します。新品のユニットは工場出荷時に潤滑されており、腐食から保護されています。チョックを外して清掃する際にLGAF 3Eが必要になります。



### 使い方

- SKFヴィブラコンを取外して分解し、球面接触面をきれいに掃除します。チョック部に汚れ、ゴミ、溶剤が付着していれば、取り除きます。
- 球面接触部に少量のLGAF 3Eを塗布し、薄いフィルム状に広げます。
- SKFヴィブラコンの取扱説明に従いチョックを元通り取付けます。

**重要:** SKFヴィブラコン(チョック)は、選択した材質によっては過酷な環境にさらされることで腐食が発生することがあります。腐食したヴィブラコンは、負荷容量が低下している可能性があるため、再使用しないでください。

## フレットニング腐食とは？

フレットニング腐食は、2つの金属の接触部に発生する進行性の表面損傷です。ごくわずかな揺動、振動あるいは金属表面同士の滑りによって生じます。フレットニング腐食は軸受にとっての一つのリスクであり、外輪とハウジングまたは内輪と軸とのすきまばめに生じることが良くあります。均一でない軸受座やゆる過ぎるはめあいがフレットニング腐食を助長することがあります。腐食による損傷の修理には接触部分の分解点検が必要で、軸受座の不良を起こすリスクもあります。また、フレットニング腐食は他の金属接触部、たとえばSKFインダクションヒーターのヨークと誘導コイル、SKFヴィブラコンなどのリスクにもなります。

SKF LGAF 3Eは、金属接触面に保護層を作る特殊な添加剤が入ったグリース状のなめらかなペーストで、こうした金属接触部や他の用途のフレットニング腐食を低減します。



## 各種サイズ

35 gチューブは、特に現地作業、サービスキット、機械保守チーム、工具箱などに適しています。大きいサイズの缶は修理工場や生産環境に適しています。

### ラインナップ

#### 梱包サイズ

#### 型番

35 gチューブ	LGAF 3E/0.035
0,5 kg缶	LGAF 3E/0.5
30 kgドラム缶	LGAF 3E/30

### テクニカルデータ

#### 型番

LGAF 3E

比重	1,19
色	ホワイトベージュ
基油タイプ	鉱油と合成油
増ちょう剤	リチウム石けん
使用温度範囲	-25 ~ +150 °C
基油粘度 40 °C、mm <sup>2</sup> /s	17,5

® SKFはSKFグループの登録商標です。

© SKF Group 2018

この出版物の内容に関する著作権は発行者に帰属し、全てまたは一部を書面による事前許可なく複製または抜粋することを禁じます。この出版物に含まれる情報の正確性については最善の注意を払っていますが、ここに含まれる情報の利用によって、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる損失または損害について、弊社では一切責任を負わないものとします。

PUB MP/P2 17886 JA · February 2019